

# RefWorks（レフワークス）入門編

## 新インターフェース RefWorks2.0

Update : 2011.12 看護大版



It's New!!

2011年10月

新インターフェースに移行

バージョンアップ機能

- ・フォルダ機能の強化
- ・認証とインターフェースなどが新しくなりました。

## RefWorks2.0 バージョンアップ機能について

### \*フォルダ機能の強化

- ・サブフォルダ

フォルダの新規作成時に親フォルダを選択して、フォルダの階層構造を作成できるようになりました。

- ・フォルダ内重複削除

どのフォルダにも分類されていないレコードに限定して重複削除を行うことが可能となりました。

・共有機能 公開フィールドの選択が可能に 共有するフィールドを選ぶことが可能になりました。

「共有フォルダのオプション」画面に共有するフィールドを指定できるオプションが追加されました。またフォルダ一覧画面には公開フィールドのデフォルト設定のメニューが追加され基本設定を行うことも可能です。

- ・「フォルダの整理および共有」タブ

別々に表示されていた「フォルダ」タブと「共有」タブが「フォルダの整理および共有」タブに統合され操作性が向上しました。

### \*認証とインターフェース

- ・Shibboleth と Athens に対応いたしました。

・the American Disability Act(アメリカ障害者法 (ADA))に対応したキーボードによるインターフェースに対応しました。



文献管理ソフト RefWorks（レフワークス）についてご紹介します。

1. RefWorks へのアクセス方法	P 2
2. アカウント作成（個人アカウントの作成）	P 2
3. ログイン（学内から）	P 4
4. 学外からの利用	P 5
5. データを追加する（インポート）	-----
6. データのバックアップ	P 21
7. 参考文献リストの作成について	P 23

医中誌 Web	P 6
JDream II	P 7
CiNii	P 9
CINAHL	P 11
PubMed	P 12
The Cochrane Library	P 15
RefGrab-It	P 18

日本赤十字看護大学紀要 参考文献とは？ P 31

### 1. RefWorks へのアクセス方法

図書館 HP から



をクリックします。



### 2. アカウント作成（個人アカウントの作成）

RefWorks Classicを使用してログインする

▼ グループコードを使ってログインする

RefWorksが初めての方はこちらへ

**新規アカウントを申し込む**

Japanese Redcross College of Nursing  
RefWorksアカウントにログインします。

ログイン名  
パスワード

所属機関外からのリモートアクセスはこちら

パスワードをお忘れの方

ログイン

新規アカウントを申し込む

「新規アカウントを申し込む」をクリック

個人情報の取り扱いについて



アカウントを作成

ステップ1: Account Information      **ステップ2: User Information**      Finished → Enjoy RefWorks!

Create an account at Japanese Redcross College of Nursing (not my institution)

メールアドレス:  ←

Re-enter Email Address:

ログイン名:

パスワード:

パスワードの再入力:

→ 次へ をクリック!

→ 次へ

アカウント作成後、登録メールアドレスに登録情報が送信されます！  
そのため利用可能なメールアドレスをご登録ください。  
※全ての項目が入力必須となっています。記入・選択漏れが無いようご注意ください。

以下の文字列はログイン名、パスワードで使えません×  
\* アスタリスク <> [ ] 括弧 = イコール  
+ プラス ` 引用符 / スラッシュ  
, . : ; カンマ, ピリオド, コロン, セミコロン

### 3.ログイン（学内から）

RefWorks Classicを使用してログインする

▼ グループコードを使ってログインする

RefWorksが初めての方はこちらへ

[新規アカウントを申し込む](#)

Japanese Redcross College of Nursing  
RefWorksアカウントにログインします。

ログイン名

パスワード

[所属機関外からのリモートアクセスはこちら](#)

[パスワードをお忘れの方](#)

[新規アカウントを申し込む](#)

登録したログイン名、パスワードを入力

クリック

[個人情報の取り扱いについて](#)

#### ログイン名とパスワードを忘れたら??...

RefWorks Classicを使用してログインする

▼ グループコードを使ってログインする

RefWorksが初めての方はこちらへ

[新規アカウントを申し込む](#)

Japanese Redcross College of Nursing  
RefWorksアカウントにログインします。

ログイン名

パスワード

[所属機関外からのリモートアクセスはこちら](#)

[パスワードをお忘れの方](#)

[新規アカウントを申し込む](#)

「パスワードをお忘れの方」を、クリック。

登録したアドレスにログイン情報が自動送信されます。

ログイン情報を忘れた場合はこちら

メールアドレスを入力してください。ログイン情報をお送りいたします。

メールアドレス:

[個人情報の取り扱いについて](#)

## 4.学外からの利用

ご自宅や外出先から RefWorks にアクセスする場合には、**グループコード**が必要です。

「[所属機関外からのリモートアクセスはこちら](#)」をクリック

RefWorks Classicを使用してログインする

▼ グループコードを使ってログインする

RefWorksが初めての方はこちらへ

[新規アカウントを申し込む](#)

Japanese Redcross College of Nursing  
RefWorksアカウントにログインします。

ログイン名

パスワード

[所属機関外からのリモートアクセスはこちら](#)

[パスワードをお忘れの方](#)

ログイン

[新規アカウントを申し込む](#)

グループコードを入力しログイン

▼ グループコードを使ってログインする

以下のスペースにグループコードを入力してください。[グループコードをお忘れの方](#)

グループコード

ログイン

▶ Shibbolethユーザー

▶ Athensユーザー

▶ 個人ログイン

[今すぐ無料トライアルを申し込む](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

### グループコードを忘れたら??...

「[グループコードをお忘れの方](#)」をクリック

▼ グループコードを使ってログインする

以下のスペースにグループコードを入力してください。[グループコードをお忘れの方](#)

グループコード

ログイン

▶ Shibbolethユーザー

▶ Athensユーザー

▶ 個人ログイン

[今すぐ無料トライアルを申し込む](#)

**ログイン情報を忘れた場合はこちら**

メールアドレスを入力してください。ログイン情報をお送りいたします。

メールアドレス:

[ログイン画面へ戻る](#)

送信する

登録したメールアドレスを入力し「送信する」をクリックすると、グループコードが送信されます。

## 5.データを追加する（インポート）

### 医中誌 Web のインポート方法



The screenshot shows the search results page for '医中誌 Web'. At the top, there is a navigation bar with buttons for 'すべてチェック', '印刷', 'ダウンロード', 'メール', 'クリップボード', and 'ダイレクトエクスポート'. The 'ダイレクトエクスポート' button is circled in red with an arrow pointing to it. Below the navigation bar, there are filters for '表示内容の変更', 'タイトル表示', '30件', and '新しい順'. The search results list two items, both checked. Item 1 is titled '縦隔絨毛癌の1例(会議録)' and item 2 is titled '腸腰筋腫瘍が疑われた新生児化膿性股関節炎の1例(会議録)'. Each item includes author information, source information, and a 'Webcat Plus' logo.

医中誌検索結果から、ダイレクトエクスポートをクリック



The screenshot shows the 'ダイレクトエクスポート' dialog box. It has a title bar with 'HELP' and 'X' buttons. The dialog is titled '一般サイト' (General Site). There are three options listed:

-  RefWorksへのダイレクトエクスポートを実行します
-  あなたのパソコンのEndNote ライブラリへダイレクトエクスポートします
-  EndNote Webへのダイレクトエクスポートを実行します

A red arrow points to the first option. At the bottom, there is a blue 'キャンセル' (Cancel) button.

RefWorks にログインしている場合は自動的に、インポートされます。

ログインしていないと、RefWorks のログイン画面が立ち上がり、ログイン後インポートされます。

## JDream II のインポート方法

検索結果のダウンロード → RefWorks にログイン → インポート

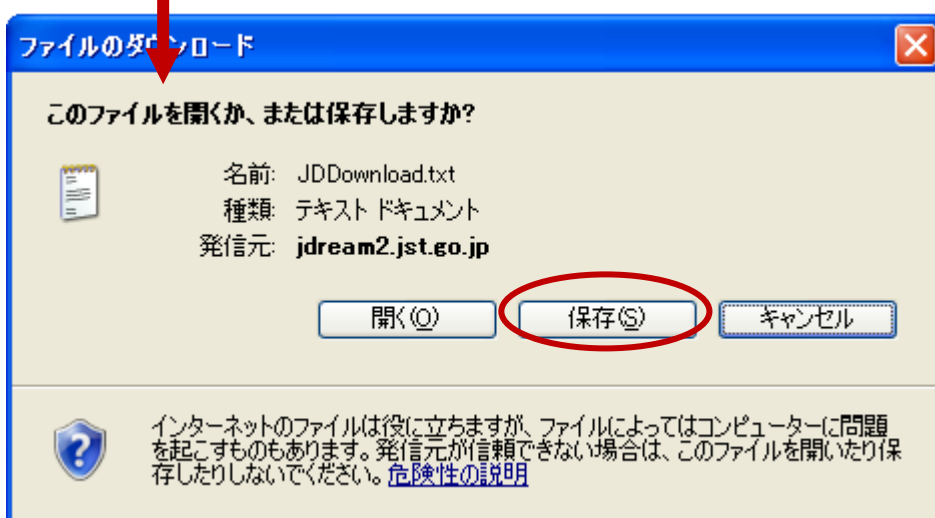
■ ダウンロード項目を選択してください

ダウンロード形式

- 印刷用形式(検索式付き)
- タブ区切り形式(検索式なし)
- Refer/BibDX形式(検索式なし)

回答をダウンロード

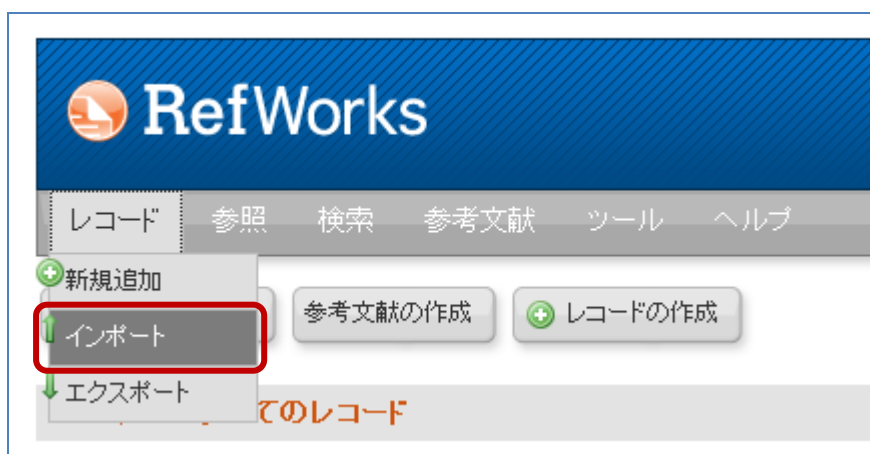
初期設定「印刷用形式（検索式付き）」のまま、ダウンロードをクリック！



デスクトップなど分かりやすい場所に、保存します。

RefWorks にログイン

メニューバーから「レコード」を選択して「インポート」をクリック



インポート画面に切り替わります。

The screenshot shows a dialog box titled 'レコードをインポートする' (Import Records). It has a blue header bar with a close button (X) on the right. Below the title, there is a section 'インポート元' (Import Source) with a help icon and a link 'ヘルプ'. Underneath, there is a link 'フィルターとデータベースの一覧 フィルターを要請する'. The main area is divided into three sections: 'テキストファイルから' (From Text File), 'テキストから' (From Text), and 'EndNoteデータベースから' (From EndNote Database). In the 'テキストファイルから' section, there are two dropdown menus: 'インポートフィルターデータベース' (Import Filter Database) set to 'JDream' and 'データベース' (Database) set to 'JMEDPlus'. Below these are fields for 'テキストファイルを選択:' (Select Text File) with the path 'C:\Documents and Setting' and a '参照...' (Browse...) button, and 'エンコード' (Encoding) set to 'ANSI/OEM - Japanese Shift-JIS'. A note below says '日本語データベースの場合はエンコードを確認してください。そのほかの場合は、デフォルト状態にしておいてください。' (For Japanese databases, please check the encoding. For others, please leave it at the default state.). In the 'テキストから' section, there is a dropdown menu set to '論文' (Thesis). In the 'EndNoteデータベースから' section, there is a dropdown menu set to '論文'. At the bottom, there is a section 'インポート先' (Import Destination) with a note '(レコードは、「最近インポートされたレコードフォルダ」の中にも含まれています。)' (Records are also included in the 'Recently Imported Record Folder'). Below this is a dropdown menu 'インポート先フォルダ' (Import Destination Folder) set to '論文'. At the bottom right, there is a button 'インポート' (Import) with an upward arrow, which is highlighted with a red box and labeled '⑥クリック' (Click).

- ① インポートフィルターから「JDream」を選択
- ② データベース「JMEDPlus」を選択
- ③ 検索結果のテキストファイル保存先を指定（ここではデスクトップのテキストを選択）
- ④ インポート先のフォルダを選択
- ⑤ 「インポート」をクリック

## CiNii へのインポート方法

検索結果をパソコンにファイルして保存してから、RefWorks にデータを追加します。

検索結果から RefWorks に追加したいデータにチェックを付けます。

「Refer/Bib I X 形式で出力」を選択し、「実行」をクリックして、パソコンにファイルを保存します。

論文検索 著者検索 (beta)

がん看護 論文検索

詳細検索  すべて  CiNiiに本文あり  CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

検索結果: 2712件中 1-20 を表示

1 2 3 4 5 6 ... 136 次へ

Refer/BibIXで出力 実行  全件選択 20件ずつ表示 出版年: 新しい順に表示 表示

操作を選択...  
詳細を一括表示  
Refer/BibIXで出力  
BibTexで出力  
SVで出力  
問題の指摘

がん患者が抱く希望  
小野 善昭, 池田 正子  
患者の希望に関する研究は少ない。成人前の子どもを育てている初発乳がん患者が、退院前に抱く希望の  
援の方法を検討する。対象と方法: 研究参加に同意の得られた 18歳以下の子どもを持つ 20~40歳代の  
初発乳がん患者 10名で、手術後 3日以降に半構成的面接および看護記録からデータを収集した。質的帰納的手法により患  
者の希望に関する言語をコード化し、類似 ...  
The Kitakanto Medical Journal. 60(3), 235-241, 2010-08-01  
機関リポジトリ

看護学生のがん患者に対するイメージと影響する背景: 大学生と養成校生のアンケート調査  
小野 善昭, 池田 正子  
... 看護学生のがん患者に対するイメージと影響する背景を明らかにする目的で、平成19年度に在学中の看護大学生と3年  
制看護師養成学校生、計134名を対象として、がん看護に関する経験や関心とがん患者のイメージを解析した。... 学生の7  
割はがん患者の看護や介護の経験がなく、学生の8割はがん看護への関心があると答えていた。...  
紀要 4, 35-42, 2010-03  
CiNii Link1 医中誌

関連著者  
大田 洋二郎  
赤根 光宣  
上杉 和美  
佐藤 淳  
前田 ひとみ  
大山 ちあき  
大竹 徹  
妻木 浩美  
宇宿 文子  
安藤 千賀子  
小野 善昭  
川名 典子  
水主 いづみ  
池田 宇次  
池田 正子  
浅野 美知恵

以下のインポート作業は、JDream と同じです。

RefWorks にログイン

メニューバーから「レコード」を選択して「インポート」をクリック

RefWorks

レコード 参照 検索 参考文献 ツール ヘルプ

新規追加  
インポート  
エクスポート

参考文献の作成 レコードの作成

インポート画面に切り替わります。

The screenshot shows a dialog box titled "レコードをインポートする" (Import Records). It has a blue header bar with a close button (X) on the right. The main area is divided into sections: "インポート元" (Import Source) and "インポート先" (Import Destination). Under "インポート元", there are three main options: "テキストファイルから" (From text file), "テキストから" (From text), and "EndNoteデータベースから" (From EndNote database). The "テキストファイルから" option is selected. Below it, there are four settings: "インポートフィルター/データソース" (Import filter/data source) set to "CiNii", "データベース" (Database) set to "CiNii", "テキストファイルを選択:" (Select text file:) with a file path "C:\Documents and Setting..." and a "参照..." (Browse...) button, and "エンコード" (Encoding) set to "UTF-8". Red arrows point to each of these four settings with labels ① through ④. Below these settings is a note: "日本語データベースの場合はエンコードを確認してください。そのほかの場合は、デフォルト状態にしておいてください。" (For Japanese databases, please check the encoding. For other cases, please leave it at the default state.) Under "インポート先", there is a note: "(レコードは、'最近インポートされたレコードフォルダ'の中にも含まれています。)" (Records are also included in the 'Recently imported records folder'). Below this is "インポート先フォルダ" (Import destination folder) set to "論文" (Thesis). A red arrow points to this dropdown with label ⑤. At the bottom right, there is a button labeled "↑ インポート" (Import) with a red arrow pointing to it and label ⑥. The dialog box also has a "ヘルプ" (Help) icon in the top right corner.

- ① インポートフィルター/データソースを「CiNii」を選択します。
- ② データベースを「CiNii」を選択
- ③ テキストファイルを指定します（先ほどデスクトップに保存したファイルを指定します）
- ④ エンコードは初期設定のままでOK「UTF-8」に設定します。
- ⑤インポート先フォルダを選択
- ⑥インポートをクリック

## CINAHL へのインポート方法

検索結果のタイトルをクリックして、詳細画面右側の「ツール」から「エクスポート」をクリック！

The screenshot shows the CINAHL database interface. At the top, there is a navigation bar with page numbers (1, 2, 3, 4, 5) and options like 'Date Descending 並び替え', 'Page Options', and 'アラート / 保存 / 共有'. Below this, a search result is highlighted with a red box: 'Fundamental requirements for the safe handling and administration of monoclonal antibodies.' A red arrow points to this title. The detailed record for this article is shown below, including author (Brydon P), editor (Farmer F, Prest G), journal (nursing.aust (NURS AUST), 2010 Autumn; 11(1): 24-6 (16 ref)), and other metadata. On the right side, a 'ツール' (Tools) menu is visible, with 'エクスポート' (Export) highlighted by a red box and a red arrow pointing to it. Other tools include 'フォルダに追加', '印刷', '電子メール', '保存', '引用', 'ノートの作成', 'パーマリンク', and 'ブックマーク'.

### 引用を保存するファイルの形式：

- EndNote、ProCite、CITAVI、または Reference Manager への直接エクスポート
- EndNote Web への直接エクスポート
- 汎用文献リスト管理ソフトウェア
- XML 形式の引用
- BibTeX 書式の引用
- MARC21 書式の引用
- RefWorks への直接エクスポート

検索結果を保存する形式を問われるので、「RefWorks への直接エクスポート」を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'レコードをインポートする' (Import records). The message inside says 'インポートが完了しました - 1件が取り込まれました。' (Import completed - 1 item imported). Below the message is a button labeled 'インポートログ' (Import log) with a dropdown arrow. The dialog box has a blue header and a close button (X) in the top right corner.

RefWorks へのログイン画面が立ち上がりますので、ログインするとデータが自動的に追加されます。

## PubMed へのインポート方法

検索結果をパソコンにファイルとして保存してから、RefWorks にデータを追加します。

RefWorks に追加する文献にチェックを入れて、右上「Send to」をクリックします。  
プルダウンが表示されるので「File」にチェックをつけます。

The screenshot shows the PubMed search results page. At the top right, the 'Send to' button is highlighted with a red box. A dropdown menu titled 'Choose Destination' is open, showing options: File (selected with a red checkmark and a red arrow), Clipboard, Collections, E-mail, and Order. On the left side of the results, two checkboxes are checked, with red arrows pointing to them. The first result is 'Is progestin an independent risk factor for incident venous thromboembolism: a population-based case-control study' by Barsoum MK, et al. The second result is 'Coping Profiles Common to Older African American Cancer Survivors: Relationships with Quality of Life' by Hamilton JB, et al.

「File」をクリックすると表れるメニューをそれぞれ設定します。

Format は MEDLINE に Sort by Recently Added など（操作はしなくても構いません）

This screenshot shows the same PubMed search results page, but the 'Send to' menu is now fully expanded. The 'File' option is selected. Below the destination options, there are settings for 'Download 2 items.', 'Format' (set to MEDLINE), and 'Sort by' (set to Recently Added). A 'Create File' button is visible at the bottom of the menu. The 'Send to' button at the top right is now disabled.

「Create File」をクリックします。

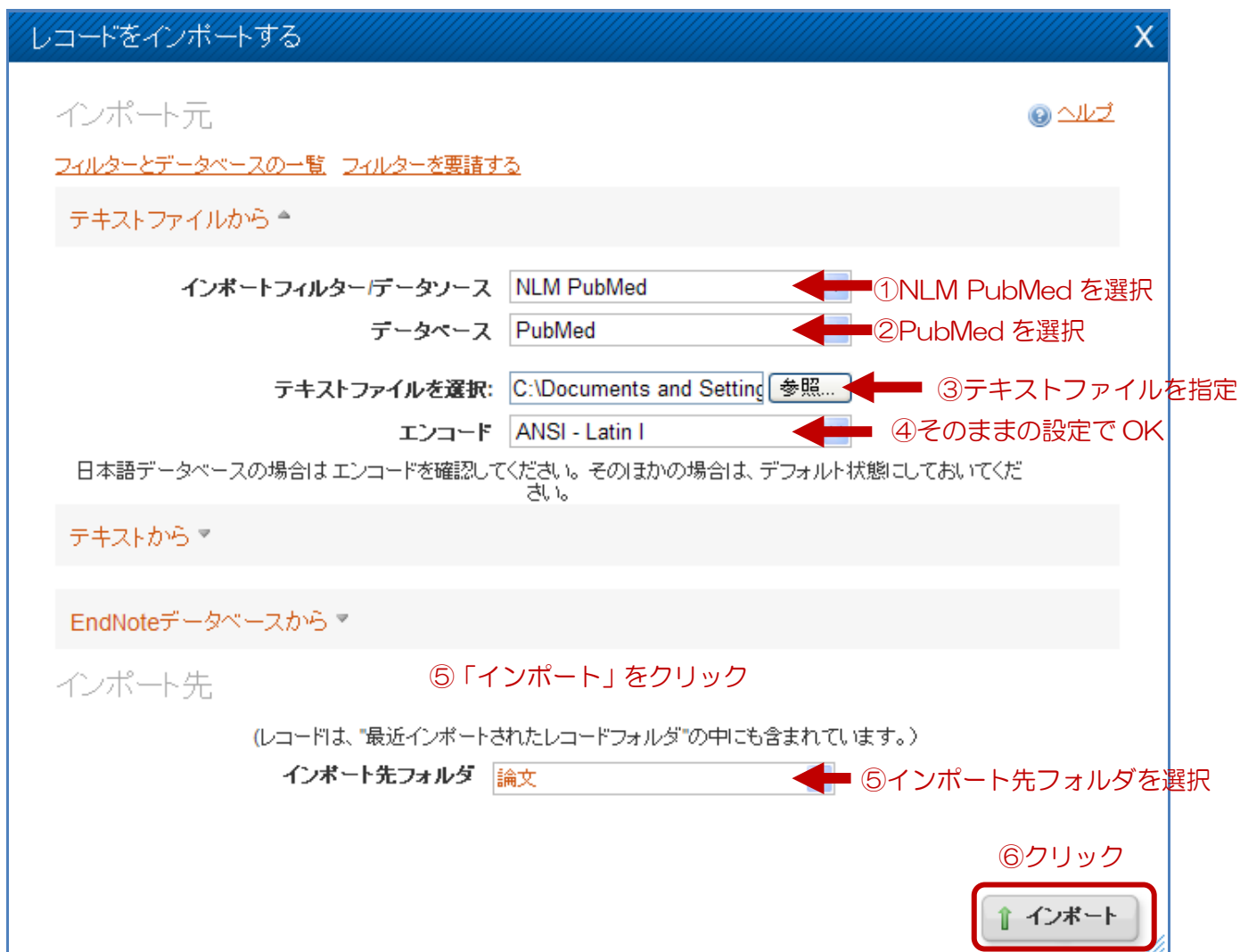


PCにPubMedからファイルがダウンロードされるので、適当な場所に保存します。  
RefWorksを立ち上げて、ログインします。以降はCiNiiへのインポート方法P9と同様です。



RefWorksを立ち上げて、ログインし、「レコード」から「インポート」を選択します。

インポート画面に切り替わります。



- ① インポートフィルター/データベースを「NLM PubMed」を選択します。
- ② データベースを「PubMed」を選択します。(①を行えば、自動的に PubMed が選択されます)
- ③ テキストファイルを指定します (先ほどデスクトップに保存したファイルを指定します)
- ④ エンコードは自動的に「ANSI-Latin I」が選ばれたままで OK !
- ⑤インポート先フォルダを選択
- ⑥「インポート」をクリック

## The Cochrane Library へのインポート方法

検索結果を PC にファイルとして保存してから、RefWorks にデータを保存します。

**THE COCHRANE LIBRARY**  
Independent high-quality evidence for health care decision making

**BROWSE**  
Cochrane Reviews: [By Topic](#) | [New Reviews](#) | [Updated Reviews](#) | [A-Z](#) | [By Review Group](#)  
Other Resources: [Other Reviews](#) | [Clinical Trials](#) | [Methods Studies](#) | [Technology Assessments](#) | [Economic Evaluations](#)

**SEARCH**  
Enter search term  
[Advanced Search](#)

[Interventions for preventing falls in older people living in the community](#)  
Lesley D Gillespie, M Clare Robertson, William J Gillespie, Sarah E Lamb, Simon Gates, Robert G Cumming, Brian H Rowe  
October 2009  
**Review**

[Interventions for the treatment of twin-twin transfusion syndrome](#)  
Devender Roberts, James P Neilson, Mark Kilby, Simon Gates  
July 2008  
**Review**

[Interventions for treatment of neonatal hyperglycemia in very low birth weight infants](#)  
Marcela Bottino, Richard M Cowett, John C Sinclair  
July 2009  
**Review**

[Loop diuretics during blood transfusion for anemia in preterm infants](#)  
Veronica Isorna, Henry L Halliday  
January 2009  
**Protocol**

[Low molecular weight heparins versus unfractionated heparin for acute coronary syndromes](#)  
Kirk Magee, William W Sevcik, David Moher, Brian H Rowe  
September 2010  
**Comment** **Review**

[Magnesium sulfate for persistent pulmonary hypertension of the newborn](#)  
Jacqueline J Ho, Ganesa Rasa  
March 2010  
**Review**

検索結果から RefWorks へ追加するデータの内容を選びチェックをつけます。

検索結果一番下に表示される「Export Selected Citations」をクリックします。

すべての検索結果をインポートする場合は「Export All Results」をクリックします。

[Late erythropoietin for preventing red blood cell transfusion in preterm and/or low birth weight infants](#)  
Sanjay M Aher, Arne Ohlsson  
April 2010  
**Review**

[Select All](#) (to export citations)

[Export Selected Citations](#) [Export All Results](#)

View: **1-25** | [26-50](#) | [51-75](#) | [76-100](#) | [101-125](#) | [Next >](#)

次に RefWorks に追加するデータの内容を選択します。



**Choose your export options**

You have chosen to export a total of **3** articles. Please select your preferred format from the options below, click 'Go' and then select 'Save' from the pop-up dialog

**Export Type:** Abstract and citation ▼  
**File Type:** Citation  
Abstract and citation ①

Export Citation

①Export Type の欄から「Citation (タイトルや著者名などの書誌事項のみ)」  
または「Abstract and citation (抄録と書誌事項)」を選びます。

**Choose your export options**

You have chosen to export a total of **3** articles. Please select your preferred format from the options below, click 'Go' and then select 'Save' from the pop-up dialog

**Export Type:** Abstract and citation ▼  
**File Type:** PC  
PC ②  
Macintosh  
Unix or Linux

②次に File Type からご利用の PC の種類を選択します。(Windows ウィンドウズの場合は「PC」を選択)

**Choose your export options**

You have chosen to export a total of **3** articles. Please select your preferred format from the options below, click 'Go' and then select 'Save' from the pop-up dialog

**Export Type:** Abstract and citation ▼  
**File Type:** PC

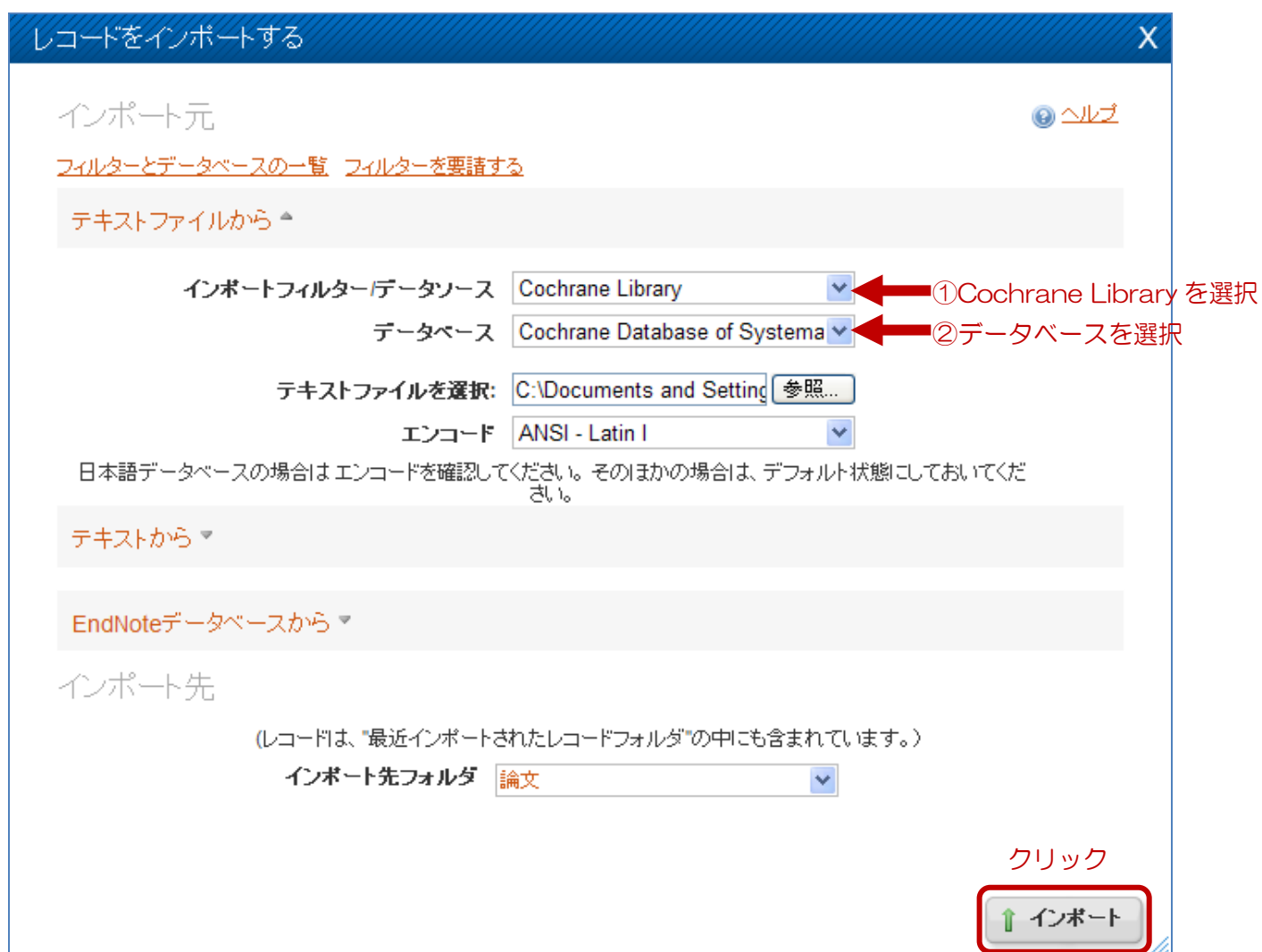
Export Citation ③

③「Export Citation」をクリック  
デスクトップ上などに保存 (テキストファイル形式) されます。

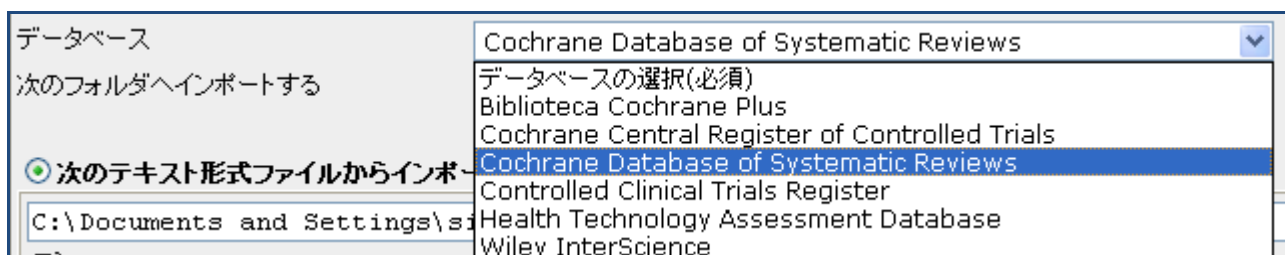
RefWorks を立ち上げて、「レコード」→「インポート」をクリックします。



①インポートフィルターデータソースは「Cochrane Library」を選びます。



②データベースは、「Cochrane Database of Systematic Reviews」を選択します。



そのほかの操作は、PubMed へのインポート方法 P11 と同様です。

### RefGrab-It へのインポート方法

RefGrab-It (レフグラブ イット) はウェブサイト情報やウェブサイト上に記載されている文献情報を RefWorks に簡単にインポートするためのツールです。この機能を利用するためには RefGrab-It へのリンクをブラウザの「お気に入り」もしくは「ブックマーク」に登録する必要があります。

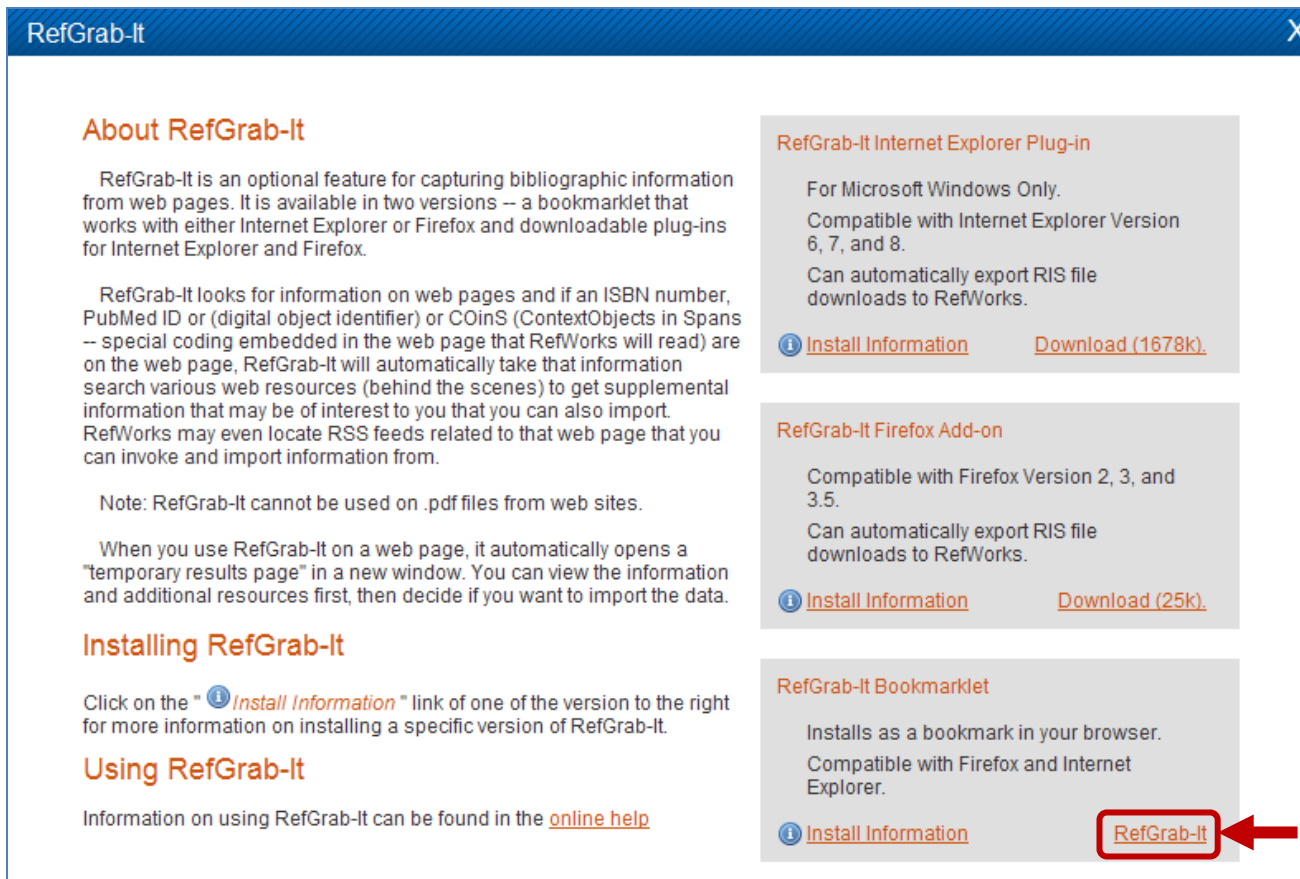
Windows ユーザーは Internet Explorer と FireFox が、Mac ユーザーは FireFox、Netscape が登録できます。

1) RefGrab-It を登録します。

メニューバーから「ツール」→「RefGrab-It」を選択。



- 2) それぞれのブラウザの説明文中の RefGrab-It を「お気に入り」もしくは「ブックマーク」に登録。  
例) Internet Explorer の場合



The screenshot shows the RefGrab-It website with the following content:

- About RefGrab-It**

RefGrab-It is an optional feature for capturing bibliographic information from web pages. It is available in two versions -- a bookmarklet that works with either Internet Explorer or Firefox and downloadable plug-ins for Internet Explorer and Firefox.

RefGrab-It looks for information on web pages and if an ISBN number, PubMed ID or (digital object identifier) or COinS (ContextObjects in Spans -- special coding embedded in the web page that RefWorks will read) are on the web page, RefGrab-It will automatically take that information search various web resources (behind the scenes) to get supplemental information that may be of interest to you that you can also import. RefWorks may even locate RSS feeds related to that web page that you can invoke and import information from.

Note: RefGrab-It cannot be used on .pdf files from web sites.

When you use RefGrab-It on a web page, it automatically opens a "temporary results page" in a new window. You can view the information and additional resources first, then decide if you want to import the data.
- Installing RefGrab-It**

Click on the "Install Information" link of one of the version to the right for more information on installing a specific version of RefGrab-It.
- Using RefGrab-It**

Information on using RefGrab-It can be found in the [online help](#)
- RefGrab-It Internet Explorer Plug-in**

For Microsoft Windows Only.  
Compatible with Internet Explorer Version 6, 7, and 8.  
Can automatically export RIS file downloads to RefWorks.  
[Install Information](#) [Download \(1678k\)](#)
- RefGrab-It Firefox Add-on**

Compatible with Firefox Version 2, 3, and 3.5.  
Can automatically export RIS file downloads to RefWorks.  
[Install Information](#) [Download \(25k\)](#)
- RefGrab-It Bookmarklet**

Installs as a bookmark in your browser.  
Compatible with Firefox and Internet Explorer.  
[Install Information](#) [RefGrab-It](#)

RefGrab-It を右クリックして、“お気に入りに追加”を選択。

- 3) RefWorks にインポートしたいウェブサイト閲覧中にお気に入り  
(またはブラウザのツールバーの「リンク」) から [Download \(1678k\)](#) RefGrab-It をクリック。

4) 「詳細の表示」をクリックすると表題、URL、作成日、最終更新日などのサイト情報を別ウィンドウに表示します。サイト情報を RefWorks に取り込みたいときは「RefWorks にインポートする」ボタンをクリック。

※ウェブサイトに ISBN, PubMed ID, DOI (\* 下記詳細参照) の情報が含まれている場合は文献情報を自動的に検索して「その他の情報」として下に表示します。ページ上にある情報が ARTICLES, BOOKS, RSS など種類別に分かれてリンクが設定されていますので必要な情報のリンクをクリックして下さい。情報の詳細画面に切り替わります。3) RefWorks にインポートしたいウェブサイト閲覧中にお気に入り (またはブラウザのツールバーの「リンク」) から RefGrab-It をクリック。

\*DOIとは??・・・

DOI（どい）とは Digital Object Identifier の略称です。Web 上の電子文献と一対一に対応しているコードのこと。商品に対するバーコードや、書籍に対する ISBN コードと同じようなもの。

例) 10.1021/ip0349227

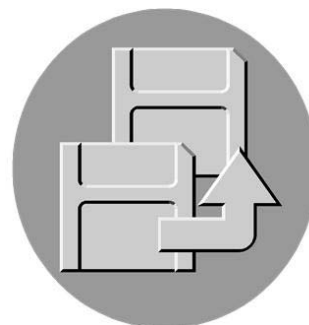
国際 DOI 財団が付与する  
ディレクトリの識別子

ファイルの所有者  
(この例ではアメリカ化学会)

一旦与えられた DOI コードは恒久的に使われます。電子ジャーナル配布サイトの URL が変わっても、DOI は変わりません。Web 上の電子文献を、DOI を使って管理すれば、常に同じ URL で論文にアクセスできる仕組みが作れます。

注) Web 上の情報を引用文献として利用する場合、DOI が必要な場合があります。

4) 「詳細の表示」をクリックすると表題、URL、作成日、最終更新日などのサイト情報を別ウインドウに表示します。サイト情報を RefWorks に取り込みたいときは「RefWorks にインポートする」ボタンをクリック。※ウェブサイトに ISBN, PubMed ID, DOI の情報が含まれている場合は文献情報を自動的に検索して「その他の情報」として下に表示します。ページ上にある情報が ARTICLES, BOOKS, RSS など種類別に分かれてリンクが設定されていますので必要な情報のリンクをクリックして下さい。情報の詳細画面に切り替わります。



注意！保存したデータは、定期的にバックアップをとりましょう！

## 6.データのバックアップ

RefWorks の「ツール」から「バックアップと復元」を選択



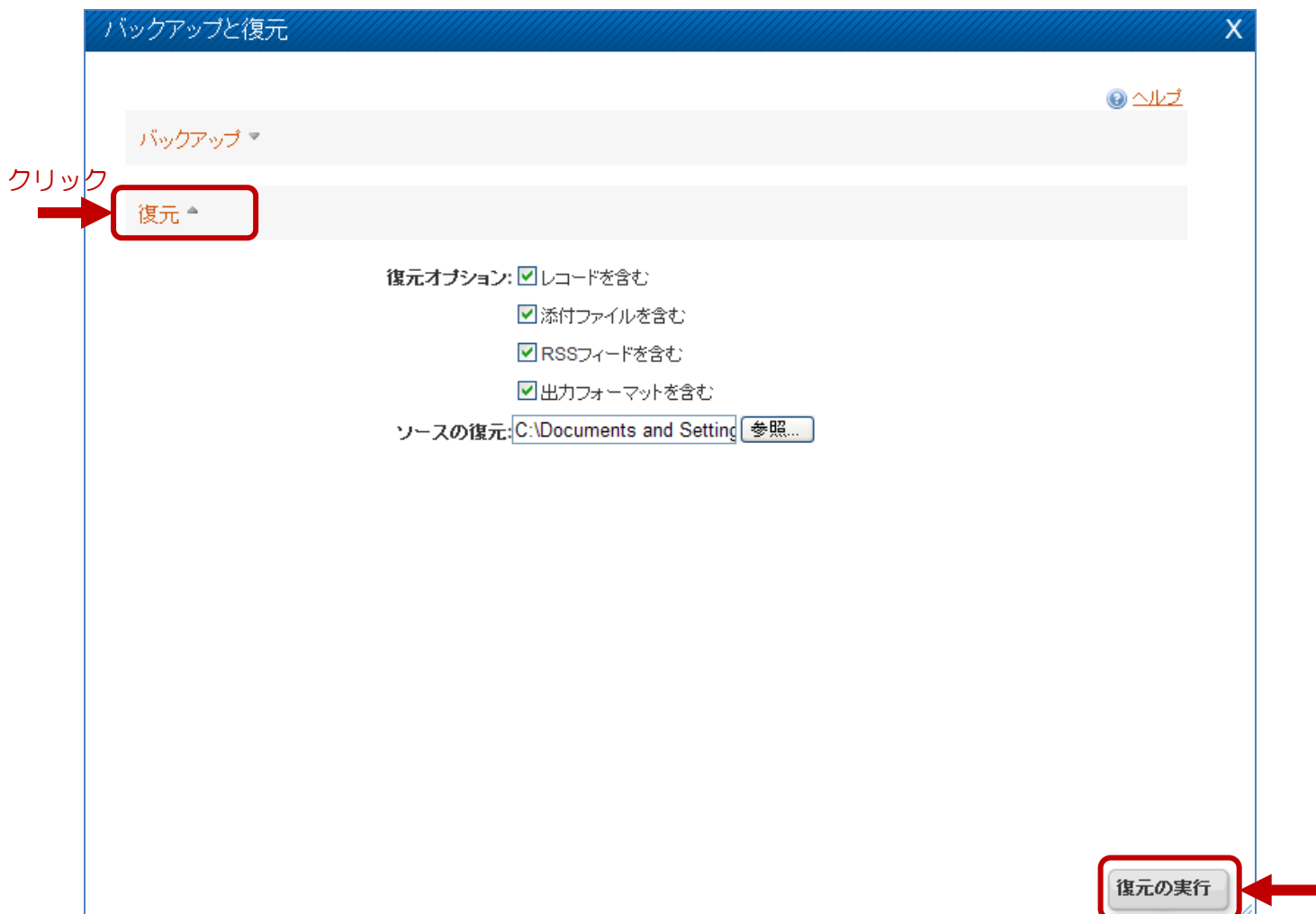
バックアップ/復元の画面が表示されます。最初にバックアップの画面が開きます。



レコード、添付ファイルやRSS フィードを含みデータをバックアップする場合は、✓をつけます。

「バックアップの実行」をクリックして、バックアップ完了です！

次に、「復元」をクリック



復元オプションのうち、レコード、添付ファイル、RSS フィード、出力フォーマット、などを選択し ✓をつけます。ソースの復元を行う場合は対象となるファイルを選択します。

右下の「復元の実行」をクリックして、復元完了です！

## 7.参考文献リストの作成について

参考文献リストを作成するには3つの方法があります。

- A. レコード一覧から生成する
- B. 原稿ファイルから生成するー1（引用ビューアを利用する）
- C. 原稿ファイルから生成するー2（Write-N-Cite（ライトアンドサイト）を使用する）

### A. レコード一覧から生成する

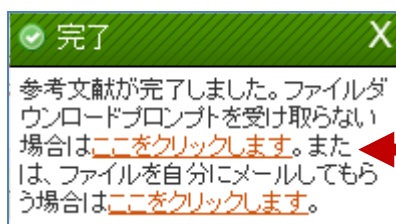
メニューバーから「参考文献」→「作成」を選択します。



2) 出力フォーマットから、投稿先の雑誌の形式①、出力先のファイル形式②、参考文献リストにするフォルダ③をそれぞれ選択、“参考文献の作成”をクリック④。



3) 参考文献リストが別画面で立ち上がります。

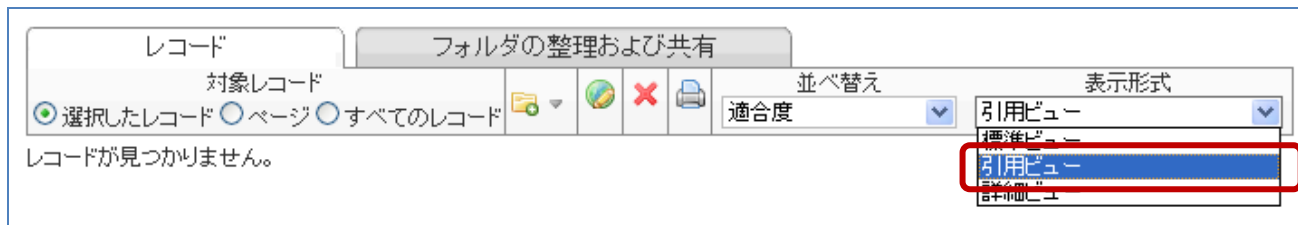


画面が立ち上がらない場合は、以下画面の“[ここをクリックします](#)”をクリックして参考文献リストを入手してください。メールで受け取る場合は、“[ここをクリックします](#)”をクリックします。

B. 原稿ファイルから生成するー1（引用ビューアを利用する）

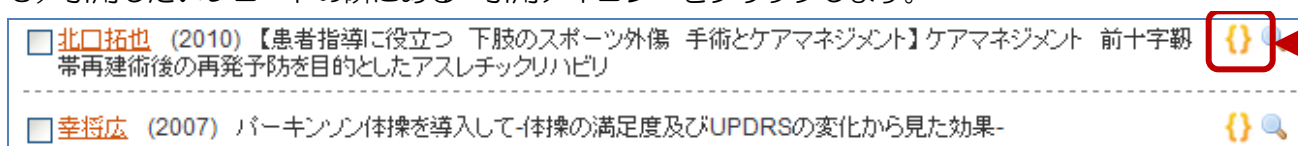
1) 論文を Word にて作成します。

2) RefWorks のレコードを表示形式ドロップダウンメニューから「引用ビュー」を選択し通覧します。

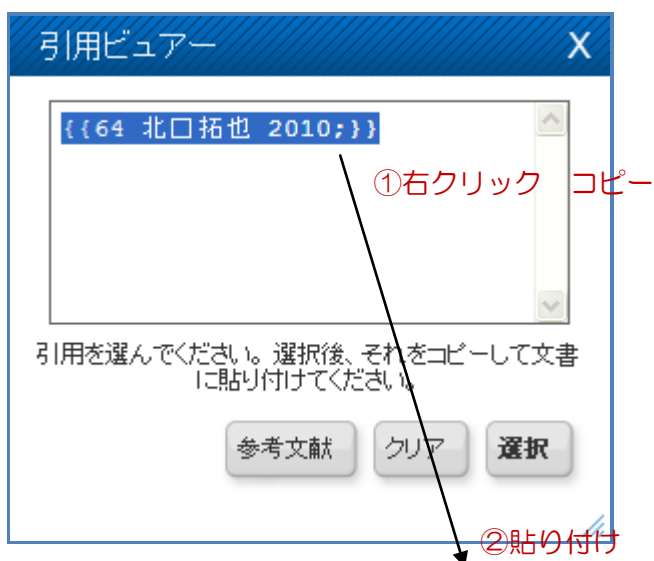


3) 引用したいレコードの隣にある”引用アイコン”をクリックします。

引用アイコン



4) “選択” をクリックし、右クリックでコピー Word 文書（論文）の引用したい部分に貼り付けます。



という結果も報告されている。{{64 北口拓也 2010;}}

5) Word を保存します。※ファイル名は半角英数にしてください。

6) RefWorks メニューバーから「参考文献」→「作成」を選択。

7) 出力フォーマットから、投稿先の雑誌の形式を選択ー①、フォーマット化するファイルで、先ほど保存した Word ファイルを参照のうえ指定ー②、“参考文献の生成”をクリックー③。



参考文献の作成

出力フォーマット一覧 [新しい出力フォーマットを要請する](#)

出力フォーマット: 日本赤十字看護大学紀要  ①投稿先の雑誌の形式を選択

[出力フォーマット管理ツール](#) [出力フォーマットプレビュー](#)

原稿ファイルから作成 ▼

コード一覧から作成 ▲

ファイルタイプ: Word for Windows (97 以上)  ②参考文献リストにするワード  
ファイルを指定する

サポートしているフォーマット: Word、Open Office、RTF、Text、およびHTML

エクスポートの対象: 論文

参考文献の作成 

8) 参考文献リストが追加された Word ファイルが新しいウィンドウで開きます。

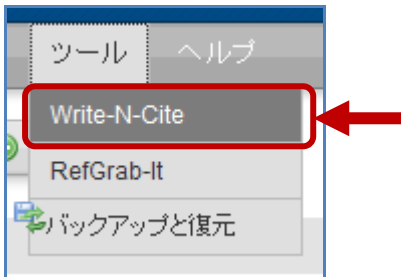
※新しいファイルが出来上がりますので、あらためて名前をつけて保存し、原稿ファイルも編集用に保存しておいてください。出来上がった参考文献リスト付のファイルは、原稿ファイルに戻せません。

### C. 原稿ファイルから生成するー2 (Write-N-Cite (ライトアンドサイト) を使用する)

RefWorks には参考文献リストを簡単に作成できる Write-N-Cite (ライトアンドサイト) というソフトが用意されています。Write-N-Cite を利用するにはまず端末にインストールする必要があります。

#### Write-N-Cite (ライトアンドサイト) のインストール方法

1) メニューバー「ツール」→「Write-N-Cite」を選択。



2) Write-N-Cite のダウンロード画面に移動したらファイルをダウンロードしてインストールしてください。

A screenshot of the Write-N-Cite download page. The page has a blue header with the title 'Write-N-Cite' and a close button. The main content is in Japanese and includes sections for 'Write-N-Citeについて' (About Write-N-Cite), 'Write-N-Citeのインストール' (Installation), and 'Write-N-Citeを開始する' (Getting started). On the right side, there are two download options: 'Windows版Write-N-Cite III' and 'Mac版Write-N-Cite'. The Windows version section lists compatibility with MS Vista and Word 2007, and provides links for 'インストール情報' (Installation info) and 'ダウンロード(964k)' (Download). The Mac version section lists compatibility with Windows XP and newer versions, and provides links for 'インストール情報' (Installation info) and 'Download (503k)'.

### Mac にインストール際のご注意

※Microsoft Office はサービスパック等、更新プログラムをなるべく適用し、最新の状態にしてください。また Word しか使わない場合でも、できるだけフルインストールしてご利用ください。

※doc 形式、docx 形式どちらにも対応していますが、途中で形式変更をすると引用リスト作成時にエラーとなる場合があります。できるだけ作業完了まで形式を変更しないようにお願いします。

※Write-N-Cite は最新のバージョンを使用し、できるだけ従来の設定ファイルを削除して使用してください。設定ファイルは「com.refworks.wncm.plist」という名前で以下の場所にあります。

「(ユーザー名) /ライブラリ/Preferences/com.refworks.wncm.plist」

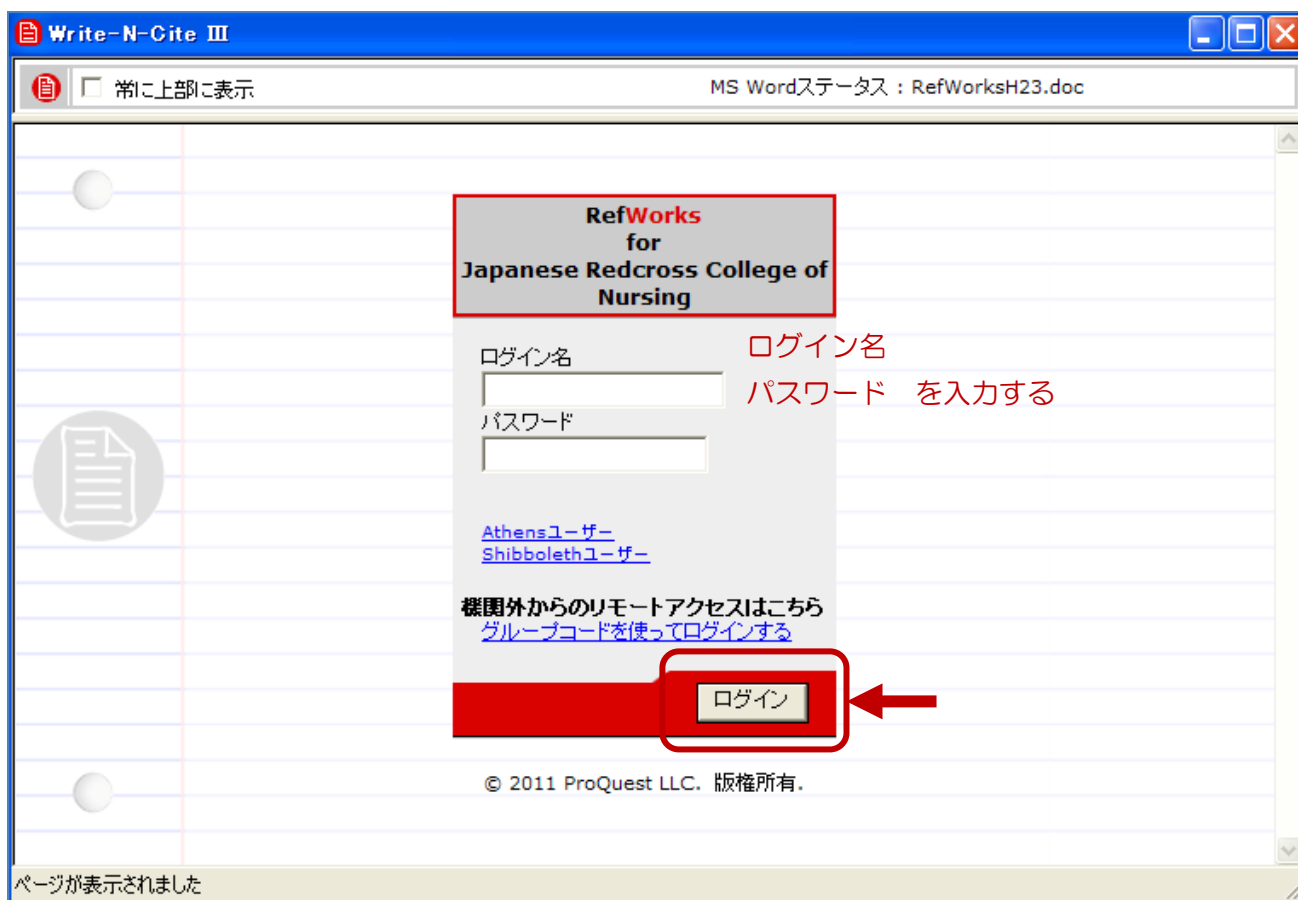
※引用タグの挿入時、日本語が含まれると一時的に文字化けしますが、引用リスト作成時には引用タグ部分を含めて文字化けなく作成できます。

※最新の MacOSX10.7(Lion)には現在のところ対応していません。  
Write-N-Cite (ライトアンドサイト) を使って参考文献リストを作成  
Write-N-Cite (以後 WNC) は Microsoft Word と連動して動作します。



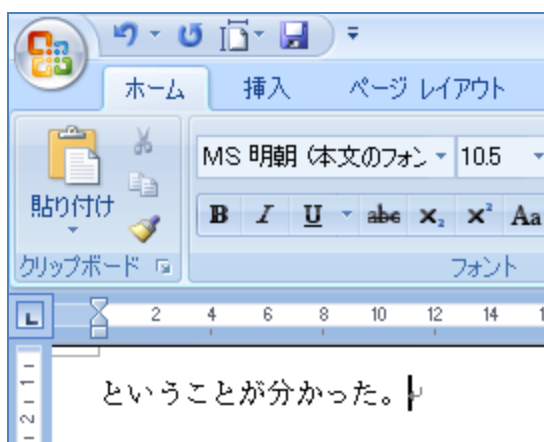
正しくインストールされると、デスクトップにショートカットが作成されます。

クリックして、ログイン画面が表示されたら



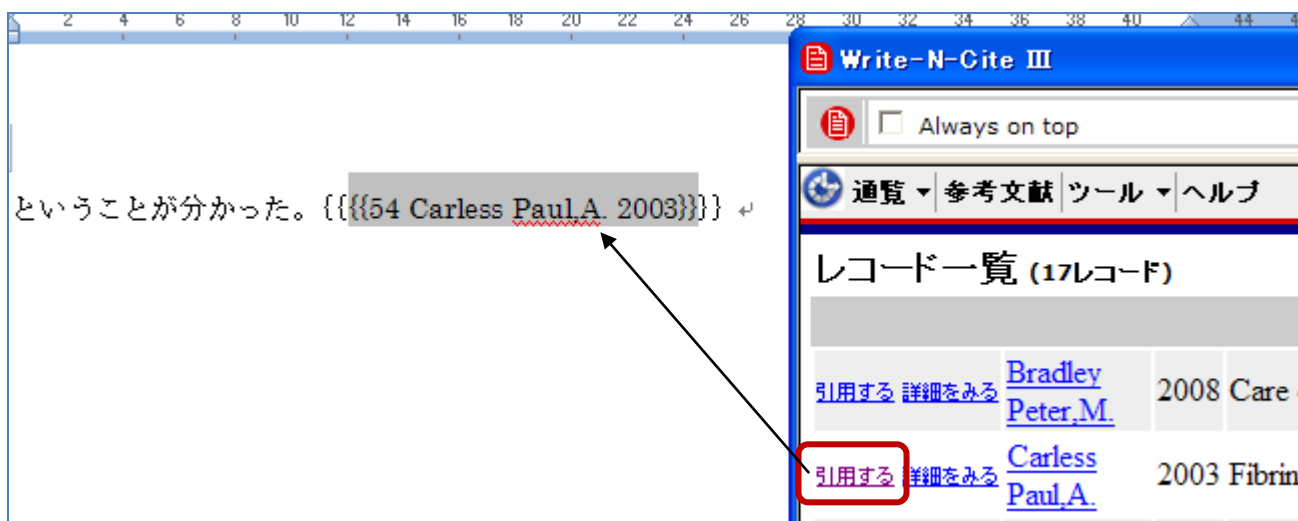
RefWorks で利用しているログイン名、パスワードを入力してください。

Word で論文等を作成中し、





必要な箇所にカーソルを合わせ Write-N-Cite “引用する” をクリック。引用文献の情報が表示されます。



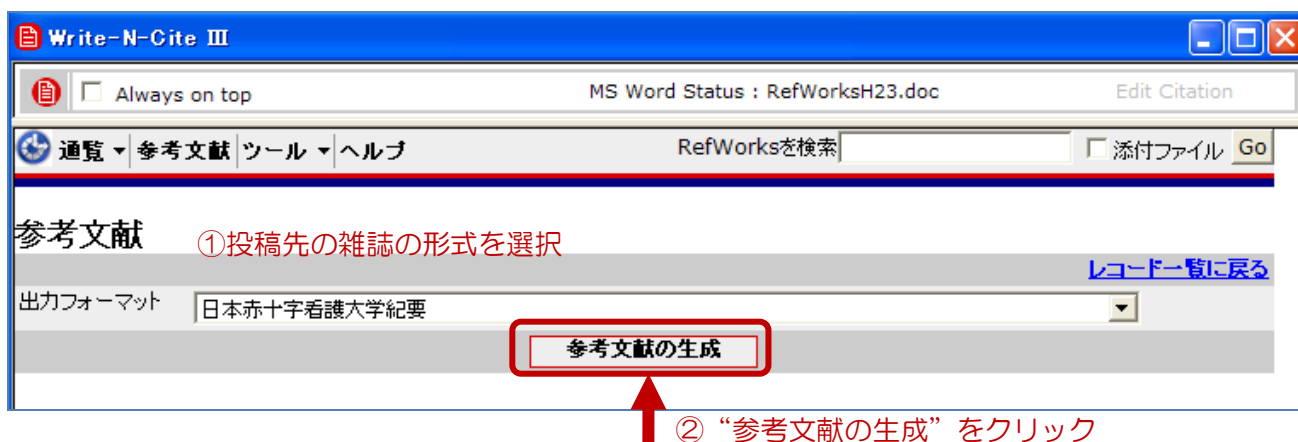
注意！ {{ }}で囲んだ形で記載して、参考文献リストを作成することが可能です。

3) Word を保存。※ファイル名は日本語でも英語でも OK。

4) Write-N-Cite のメニューバーから「参考文献リスト」を選択。



5) 出力フォーマットから、投稿先の雑誌の形式を選択し①、“参考文献の生成” をクリック②。



6) 参考文献リストが追加された Word ファイルが新しいウィンドウに開き、文章末に参考文献リストが作成されます。

## 日本赤十字看護大学紀要 参考文献のフォーマットについて・・・

本学紀要の執筆要領に準じたフォーマットとして「日本赤十字看護大学紀要」があります。

注意！執筆要領に明記されている以下の点は対応できず**手入力による修正**が必要となりますのでご利用の際は十分ご確認くださいませようお願いします。

### 【注意点】

#### ・ ページ表記：

- 1) 複数ページの場合、「pp.」 という表記ができない。対応できるのは「p.」の表記のみ。  
→複数ページの場合は、作成後ワード等で手入力により「pp.」に修正が必要。
- 2) ページ表記が必要無い場合も「p.」と自動表示されるため、不要な場合は削除が必要。

#### ・ 文献をそのまま引用する場合（引用部分を「」で括弧すること。）

→「」部分はご自身で入力し、その後にRefWorksで引用する作業が必要。

#### ・ 同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合

→発行年次の後に小文字のアルファベットの表記はできない。手入力でa,b,c, と入力が必要。

#### ・ 複数の文献を同一箇所引用する場合

→著者が重複している場合もすべて表記されるため、必要に応じて削除。

(正) (三山, 1998, 2001, 2002; 藤堂, 2000; 四谷, 1999)

↓

RefWorksでは三山, 1998; 三山, 2001; 三山, 2002と表記されてしまうため不要部分を削除。

#### ・ 外国語文献の翻訳版を使用した場合の発行年次

→オリジナル文献（原書）の発行年次と翻訳版の発行年次を/で結んで記載することはできないため手入力での修正が必要。

#### ・ 文献リスト作成時、同一著者による文献が同一年次に複数ある場合

→発行年次順には並ぶが、発行年次に付した小文字のアルファベット順に並べることができない手入力での並び替えが必要になる可能性有り。

これらの点に注意して、大学オリジナルの参考文献を作成しましょう！



## MEMO



RefWorks 利用方法の質問、不具合連絡などは、下記連絡先までお願い致します。

作成・問い合わせ先：日本赤十字看護大学図書館 内線（171）

Mail： [library@redcross.ac.jp](mailto:library@redcross.ac.jp)